

イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集 『奴らを通すな (*¡NO PASARAN!*)』(1937) について

椎 原 伸 博

はじめに

本研究は、ソヴィエトの作家でジャーナリストでもあった、イリヤ・エレンブルグ (Ilya Grigoryevich Ehrenburg 1891-1967) が、1937年にモスクワの国家出版局 Ogiz の美術出版部門である Izogiz から出版した、二巻本の写真集『スペイン (Испания / Ispania)』のうち、第Ⅱ巻の『奴らを通すな (*¡NO PASARAN!*)』(図1) の写真史的位置づけを目的とする。

『スペイン』は、1936年1月のスペイン人民戦線の成立と、2月の人民戦線内閣の成立を機に書かれ、つまりプロレタリア兄弟同盟 (Unión Hermanos Proletarios) を意味する、第Ⅰ巻『UHP』(図2) と、第Ⅱ巻『奴らを通すな』で構成されている。第Ⅰ巻は1936年7月18日までの記録であり、その装幀は Evgenii Goliakhovskii (1902-1971) が担当した。一方、第Ⅱ巻は、1936年12月までの記録であり、装幀はエレンブルグが1933年に出版した写真集『私のパリ (Moi Parizh)』と同様に、エル・リシツキー El Lissitzky (1890-1941) と妻のソフィー・リシツキー-キュッパース Sophie Lissitzky-Küppers (1891-1978) が担当した。この二冊の本は、大きさは共に縦 31cm × 横 23cm であり、15,000部出版された。

現在、この二冊は日本国内での所蔵が確認できず、古本での入手が困難である。また、アメリカのゲッティ財団が所蔵していることを確認しているが、コロナ禍で現地調査ができないため、本研究ではインターネット上で、その全貌が確認できる第Ⅱ巻に限定し、判読できない文字情報は、ロシア語版のエレンブルグ全集および、フランス語とドイツ語に訳されたものを参照する。

ところで第Ⅱ巻の全貌がインターネット上で確認できるのは、ロバート・キャパの弟で、国際写真家グループ「マグナム」のメンバーでもある、コーネル・キャパが1974年に設立した、「国際写真センター、ICP (International Center of Photography)」のサイト¹である。というのも、『スペイン』には、マグナムの写真家であるロバート・キャパ Robert Capa (1913-1954) や、デーヴィッド・シーモア (シム) David Seymour (Chim) (1911-1956) の写真が多く含まれているからに他ならない。

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

そして、特に第Ⅱ巻はキャパの写真が多く採用されているため、ICP のサイトで公開されていると思われる。

ところで、この写真集についての考察は、おおまかに、以下二つの方向性があるだろう。

一つ目は、2007 年にキャパやゲルダ・タロー、シムらが撮影した 4,500 枚にも及ぶ大量のネガがメキシコで発見された「メキシカン・スーツケース」以降に進んでいる、スペイン内戦に関する写真史研究から、この写真集を再考察することである。ICP は、ネガを取得後に詳細な調査を行い、展覧会を開くとともに、発見されたネガ全てを収めたカタログを出版している²。また、それらの成果に基づく、ベルナール・ルブランとミッシェル・ルフェーブルによるキャパの研究書『ロバート・キャパ』³は、6 頁にわたり、本書の紹介をすると共に、当時、キャパの写真が当時のフォトジャーナリズムとどのように、関わりをもっていたかを提示している。

一方、二つ目の方向性は、30 年代のフォトジャーナリズムと連動する、イリヤ・エレンブルグの写真集そのものに関する考察である。それは、この本が出版されたソヴィエトの政治や社会状況から、この本を検討することになる。また、1922 年にエレンブルグがエル・リシツキーと共に発行した、構成主義の機関誌『ヴェシチ (Vešč)』以来の、両者の関係についても視野にいれることになる。そして、本研究は、この二番目の方向性に基づくものとなる。

ところで、エレンブルグはソヴィエトの大家作家であり、その文学や政治性に関する研究は多くあるが、写真集に注目する研究は殆どなかった。しかし、サンクトペテルブルグのアンナ・アフマートワ博物館で開かれた、2001 年の「イリヤ・エレンブルグ、フォトグラファー」、2006 年の「イリヤ・エレンブルグのパリ」展が成功し、ようやく 2007 年にボリス・フレジンスキーにより、エレンブルグの写真に関する本格的な研究『カメラをもったイリヤ・エレンブルグ 1923-1944』(Илья Эренбург с фотоаппаратом: 1923-1944. Б. Я Фрезинский. Музей истории фотографии, 2007) が写真史美術館から出版されることになる。

また、『スペイン』以前の 1933 年に出版した写真集『私のパリ』(図 3) は、2003 年に、テキストの英語翻訳付きで、パリの 7L という出版社からリプリントが出版され、エレンブルグの写真研究を進展させた⁴。そして最近では、2018 年にコーネル大学出版から、Katherine M.H.Reischl “Photographic Literacy. Cameras in The Hands of Russian Authors.” が出版され、その第 4 章、Look Left, Yong Man! The International Exchange of Photo-Narratives. など、『スペイン』への言及は見られるが、依然として先行研究は少なく限定的な感は否めない。

第1章 エレンブルグの写真集『私のパリ』1933と『スペイン』1937の比較

エレンブルグは、1933年にルポルタージュ写真集『私のパリ』をモスクワで出版するが、それらの写真は1931年に、当時最新の写真機であったライカを用いて、自ら撮影したものであった。エレンブルグは回想録で、ライカを肩にしてパリの町をぶらつき、写真に熱中していたことを、以下のように回想している。

写真は、本質を深くえぐり出すという点ではなく、さっと走って消える表情、ポーズ、身振りを意地悪くとらえてしまうところに価値があるのだ。

しかし、写真に撮られるその人はその人らしくなくなる。自分に向けられたレンズに気づくと、相手はたちまち一変してしまうのだ。

略

私をひきつけた写真は人間記録であったから、側面ファインダーというものがこの世になかったとしたら、私はカメラをさげてパリの場末の町をぶらつきなぞしなかっただろう。⁵

ここで、エレンブルグは潜望鏡の原理を利用した側面ファインダーによって、いわば盗撮のような仕方で、人々のありのままの表情を写し取ろうとした。そのことは、エレンブルグの写真が、被写体に気づかれることなく撮影するキャンディド・フォトの系譜にあることを示している。そして、この写真集の被写体は、厳しい労働環境にいる労働者や、老人や浮浪者のような社会の周縁の人々を中心であった。

またこの本は、アメリカの左翼系文芸雑誌「ニュー・マッセズ (The New Masses)」1934年9月18日号に紹介され、ウォーカー・エヴァンス経由でこの本を手にしたベン・シャーン (Ben Shahn) に強い影響を与え、大恐慌以降のアメリカの農村地域の惨状を記録するFSA (農業安定局) の写真プロジェクトへと連なることになる。つまり、『私のパリ』はソヴィエトの読者向けに出版されていたが、世界恐慌以降の日常生活を記録する写真行為という点で、国際的な連なりがあった⁶。

ところで『私のパリ』は、エレンブルグの写真と彼自身のテキストにより、33章で構成されている。一方、『スペイン』もそれを踏襲しているが、『奴らを通すな』は24章の構成で、写真と彼自身のテキストの他、章ごとに政治的ポスターの画像 (第23章のみゴヤの絵画) が提示されている点で異なっている。また、『私のパリ』では、全てエレンブルグ自身が撮影した写真が採用されたが、『スペイン』では、エレンブルグの外に、エリ・ロタール、ハンス・ナムート、ゲオルク・ライスナー、シム (デーヴィッド・シーモア)、オプレス、アウグスティ・センターリヤス、メイヨ兄弟、そしてロバート・キャパらの写真が使われている点で大きく異なっている。

さらに『私のパリ』は、フランス共産党系のグラフ誌『ルガル (Regards)』に、一部が仏訳され、1934年2月2日発行の第3号から、2月16日発行の第5号まで、三週にわたり連載されている。(図4) 一方、『奴らを通すな』も『ルガル』に一部が翻訳され、「スペインの素顔 *Visage d'Espagne*。」というタイトルで、1936年10月1日発行の142号から、11月5日発行の147号まで、6週間にわたり連載されている点で共通している。(図5) そして、この翻訳を担当したのは、プーシキンの研究

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

者 J.E. プーテルマン J.-E.Pouterman であり、それらはまとめられ、Bureau d'Editions という出版社から “No pasarán! “Ils ne passeront pas” :scènes de la guerre civile en Espagne.” という書名で出版されることになる。なお、プーテルマンは 1935 年に『ルガール』に連載された、エレンブルグの小説『息もつかずに (Sans reprendre haleine.)』の翻訳も手がけている。

またドイツ語訳は、ロッテ・シュワルツ Lotte Schwarz により、プラハに逃避していた左翼系のマリク出版社から 1937 年に *No pasarán! (Sie kommen nicht durch) Vom Freiheitskampf der Spanier.* という書名で、ジョン・ハートフィールド John Heartfield (1891-1968) によるフォト・モンタージュを用いたカバーをつけて出版されている。(図 6) 周知のように、ジョン・ハートフィールドはベルリン・ダダの創設者の一人であり、風刺的なフォト・モンタージュ作品で知られている。特に、『労働者画報 AIZ (Arbeiter Illustrierte Zeitung)』⁷ における、ナチスやファシズムに対抗する痛烈な作品は、大きな影響力を有していた。またマリク社は、1929 年以降エレンブルグの著作の独訳本を次々と出版し、ハートフィールドが、その表紙カバーのデザインを担当している。そして、その中には、エレンブルグの最初のスペイン訪問記である、『今日のスペイン』1932 も含まれている。(図 7)

以上まとめると、『私のパリ』『奴らを通すな』は、二つとも左翼系グラフ誌『ルガール』を通して、フランスの読者を獲得していた点で共通している。また、二つの本とも、ソヴィエトの読者向けの本ではあるが、国際的な影響力を有していた点も共通している。つまり、『私のパリ』は、ベン・シャーンを介してアメリカの FSA 写真プロジェクトと連動し、『奴らを通すな』は、ドイツ語、ハンガリー語、スペイン語で翻訳され多くの読者層を獲得していた。しかし、前者は写真や撮影行為に関する影響であるが、後者はルポルタージュ作家としての文学的な影響であった点で異なっている。

また、『私のパリ』と『奴らを通すな』は、その装幀にエル・リシツキーが担当している点で共通しているが、前者に掲載された写真の撮影者がエレンブルグに限定されるのに対して、後者はエレンブルグ以外の写真家が携わっている点で大きく異なる。そのことは『ルガール』に掲載された写真のみならず、通信社から配信された写真を掲載することにより、スペイン内戦の資料的価値を高めた。一方、この本には特にロバート・キャパの写真が多く採用されており、キャパの作品集として位置づけられることになる。

第 2 章 『奴らを通すな』の紙面構成について

先述したように、本研究はこの本の現物や、鮮明な画像データを確認することができない不十分な状況のため、ICP のサイトで確認できる総頁を参考図版 A として提示する。そこでは、頁番号、章番号 (太字)、そして写真の番号を付し、後述する表と対応できるようにした。また、各章の冒頭部分に提示されるポスターを、参考図版 B としてまとめて提示する。

さらに、この本はソヴィエトの新聞「イズベスチヤ」の特派員報告記事で構成されているため、その発表時期と掲載誌の情報、さらに『ルガール』に「スペインの素顔」として掲載された情報、ドイツ語の翻訳本との関係について、表 1 にまとめた。

先ず表 1 を確認すると、全 24 章のうち、ロシア語のテキストについては 1991 年出版『エレンブルグ作品集』第四巻に 11 章分の掲載が確認できる⁸。またグラフ誌『ルガール』に掲載されて

いるフランス語のテキストは142～147号に連載された「スペインの素顔」の19章分と、1937年1月21日発行の『ルガル』158号に掲載された「マドリッドはいつも (Madrid toujours...)」を合わせて20章確認できる。さらに、ドイツ語訳分でも20章確認できるが、本書の第22章「マドリッドの子供たち」のテキストは確認できていない。次に参考図版1と表2にあるように、本書の総頁は151頁であり、そこに89枚の写真が掲載されている。さらに、本書は各章の始まりに当時の反フランコを主張するポスターが掲載されていることに大きな特色があり、その内容を表3としてまとめた。

以下、本書の紙面構成について検討していくが、本研究では、先ず写真とポスターにおける身振りとして、肘を伸ばさずに右手の拳を振り上げている表象に注目する。というのも、それはスペイン内戦時における、左派の人民戦線における敬礼であり、当然ながら、右手は開いたまま腕と指を完全に伸ばし斜め上に差し出す「ローマ式敬礼」の流れをくむファシズムのナチス式敬礼と明確に区別されるからである。それは、ジョアン・ミロが共和国政府の利益のために販売される1フラン切手のためのデザインに基づくポスター（切手は販売されなかったが）《スペインを救え Aidez L'Espagne》1937の図像にも顕著である。（図8）つまり、スペイン内戦時には、共和国政府の拳の敬礼と、フランコ派のナチス式敬礼とが対立し、後者が前者を駆逐することになる。

参考図版Aと表2を対応しながら検討すると、内戦時の写真であるから、当然ながら銃や兵器の表象が最も多く41件あり、全体の46%を占めている。また拳の表象は、10件あり、全体の11.2%となっている。しかし、興味深いことに、直接的に死を提示する表象は、3件しかなく3.3%に止まっている。それは、実際の悲惨な状況を提示することよりも、楽観的な状況を提示する傾向を示している⁹。

次に、参考図版Bと表3を対応しながら検討すると、ポスターでは拳の表象が4件で16.6%、軍隊への入隊を誘う、突き出す指の表象が、2件確認できた。また、発注者は、「労働者総同盟」UGT (Unión General de Trabajadores) が8件33.3%で一番多く、次に「カタルニア統一社会党」PSUC (Partit Socialista Unificat de Catalunya) が5件で20.8%、そして「若者社会主義連合」JSU (Juventudes Socialistas Unificadas) が3件12.5%となっている。そして、それら三つの政党を合わせると、16件で66.7%をしめることになる。

さらに、制作者は「職業デザイナー組合」SDP (Sindicato de Dibujantes Profesionales) が13件で54.2%を占めており、発行地ではSDPが置かれた、バルセロナが17件で70.8%を占め、ついでマドリッドが4件16.6% バレンシア1件4.2%と続くことになる。このことは、スペイン内戦の序盤戦における、歴史的状況を反映しているといえよう。つまりそれは、1936年7月19日にバルセロナで反乱軍の武装蜂起に対して、労働国民連合 (CNT: Confederación Nacional del Trabajo) や、イベリア・アナーキスト連盟 (FAI: Federación Anarquista Ibérica) を主力とする市井の民衆が制圧した状況である。

そして、アナーキスト系のCNTとFAIに、社会労働党系のUGT、PSOE (スペイン社会主義労働党)、共産党系のPSUC、PCE (スペイン共産党)、反スターリニスト系のPOUM (マルクス主義統一労働者党)らの活動が加わり、それぞれが自らのポスターを作成して、都市はポスターで彩られることになる。

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

第3章 プロパガンダとしての『奴らを通すな』

本章では、本書のプロパガンダ性を確認するために、それが端的に提示されている表象を、具体的な紙面構成から確認することにする。

まず表紙(図1)には、マドリッドの街路に掲げられた横断幕の写真が提示されている。その横断幕には ¡No pasarán! el fascismo quiere conquistar Madrid, Madrid será la tumba del fascismo. 「奴らを通すな! ファシズムはマドリッドを征服しようとしている。マドリッドはファシズムの墓になるだろう」と書かれており、スローガンの ¡No pasarán! は、赤い文字で強調されている。おそらくこの写真は、シムが撮影したもので『ルガール』145号に掲載された写真と同一であり、それをトリミングして使用している。(図9右下)

表紙をめくり1頁目に本書の概略が書かれている。2頁目は白紙であり、3頁目はスペイン共産党の書記長であったホセ・ディアス・ラモス (José Díaz Ramos, 1895-1942) が両手をあげて演説している写真が全面掲載されている。次の頁をめくると4~7の3頁分の見開きになっていて、1936年10月25日にバルセロナのモニュメンタル闘牛場で開催された、労働国民連合 (CNT)、イベリア・アナキスト連盟 (FAI)、労働者総同盟 (UGT)、カタロニア統一社会党 (PSUC) の統一戦線決起集会に集まった群衆の写真と続く。そして、それを折り返す8頁には、スペイン共産党の指導者で、ラ・パッションナリア (情熱の花) というあだ名でも知られる、ドロレス・イバルリ (Dolores Ibárruri Gómez 1895-1989) のポートレート写真となる。なおこの写真は、『ルガール』145号6頁に掲載されているもので、シムが撮影したものである。(図9左上)

イバルリは、1936年9月3日マドリッド包囲戦においてに「膝を屈して生きるよりは、脚で立って死のう! 奴らを通すな! 我らは通るぞ!」というスローガンを掲げ、多くの人々を勇気づけた。そして、本書の書名は、そのスローガンから採用されている。そして、その頁をめくると、イバルリのスローガンに触発され、ジョン・ハートフィールドが『民衆画報 (Volks Illustrierte)』1936年11月25日号に発表した、フォト・モンタージュが提示される。このフォト・モンタージュは非常に有名なものであり、ナチスのパイロットを意味する「コンドル」が猛禽類としての残虐性をファシズムの内実として暗示し、スペイン内戦の不安を明確に表現している。

次に第一章から見ていくことにする。第一章は「夜の道」というタイトルであり、1936年9月7日に「ブラウダ」に掲載されたものである。時間的経緯を考えれば、トレドに移動する際に、ある農村に夜たどりつくが、そこでファシストたちが村人を殺害した経緯や、先に進むためのパスワードのやりとり等が記述されている。そのような内容のテキストに対して、ポスターは、突き出す指のみを中心に置き、「決定的な勝利のために、あなたは民兵を助けなければならない」というスローガンが掲げられている (参考図版B ch.1 参照)。

この突き出す指の系譜は、プロパガンダポスターの歴史から見ると、第一次世界大戦時にアメリカのモントゴメリ・フラッグ Montgomery Flagg (1877-1960) による《合衆国軍に來ないか?》1917 (図10) に、そのデザインリソースを見出すことができよう。また、この突き出す指の系譜は、ソヴィエトのデミトリー・モール Dimitri Moor (1883-1946) の《赤軍に志願したか?》1920 (図11) らを経て、スペイン内戦時にはロレンゾ・ゴニ Lorenzo Goñi (1911-1992) の《それで君は勝利のために何をした》1936 (図12) にも通じているといえよう¹⁰。

しかし、ここで注目したいのは、この10頁のポスターと11頁の農夫たちの写真との並置の状況である。つまり、突き出す指で民兵への入隊を求め、右の11頁では、アンチファシズムの拳の動作、そしてカバネリヤスの首を狙え‘Vamos por la cabeza de Cabanellas’というスローガンを提示することで、エレンブルグのテキストを補完する以上の政治的メッセージを提示していることにある¹¹。(図13)この傾向は、全ての章においていえるが、スペイン内戦時の反ファシズムの動きに対し、次第にソヴィエトの影響力が強まる傾向を示すのが、本書のプロパガンダ性の特質であると思われる。

それは、表1にあるように、本書が「国際旅団」の章で終わっていることが象徴している。スペイン内戦に対しては、ドイツとイタリアが介入するのに対して、フランスとイギリスは不干渉政策をとっていた。既に、コミンテルンは反ファシズム統一人民戦線の結成の方針を示していたが、フランコ軍の侵攻に対してコミンテルンは、1936年10月22日に「国際旅団」を創設し、そこに結集した国際義勇軍の活躍とソヴィエトの援助により、マドリードの陥落は免れることになる。そして、人民戦線における共産党の主導権は強まることになった。

まとめ

表2にあるように、本書20、21、22、24章の、写真番号73、77、78、79、80、82、84、85、87、88、89の11枚は、ロバート・キャパが撮影した写真である。キャパは様々な国際旅団の部隊に随行して、市街戦や偵察行動を取材しており、それらの写真は、全て1936年11月から12月にかけて、マドリード近郊で撮影されたものである。また、エレンブルグの写真同様に、グラフ誌の『ルガール』や『ヴェ (VU)』で掲載されたものである。

スペイン内戦においては、キャパは恋人のゲルダ・タローとスペイン内戦の取材を行っていたが、ゲルダは1937年7月にブルネテの戦いの取材時に、戦車に轢かれて死亡する。キャパは、その後ゲルダ・タローの死を悼むように、1938年に写真集『作られる死 (Death in the making)』を出版するが、そこに、微小なアングル違いも含めれば、本書の写真73、77、79、82、84、87、88、89の8枚も掲載されている。

一方、本書で問題にした拳の表象について比較してみると、『作られる死』の151枚の写真のうち、拳の表象は5枚で3.3%にすぎない。つまり、同じ反ファシズムの立場にありながら、本書の方がより共和国政府の政治性を強調している証といえよう。それは、本書24章のポスターにあるように、赤旗の前に四本の拳を振り上げ「統一社会党に参加せよ (INGRESSEU AL PARTIT SOCIALISTA UNIFICAT)」というメッセージが示す政治性に他ならない。さらに、8章の写真35のUGT本部に掲げられたマルクス肖像、写真36のPSUCの本部が置かれていたホテル・コンロンに掲げられた、レーニンとスターリンの肖像、さらには18章の写真67における、ロシア革命19周年を祝うパレードの台車に掲げられたスターリンの肖像と呼応し、本書が有する煽動的 (agitational) な性格を示すことになる¹²。

本稿は、2021年9月17日に開催された「成城美学美術史学会第12回例会」における研究発表に基づいている。

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

注

1. <https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>
2. Cynthia YOUNG (ed.), *The Mexican Suitcase: the Rediscovered Spanish Civil War Negatives of Capa, Chim, and Taro*, 2 Vols. International Center of Photography and Steidl, 2010, New York and Göttingen.
3. ベルナール・ルブラン、ミッシェル・ルフエブル（太田佐絵子訳）『ロバート・キャパ』原書房、2012年。Bernard Lebrun, Michel Lefevre “Robert Capa.” Editions de La Martinière. 2011. Paris.
4. Ilya Ehrenburg “*Moi Parizh - My Paris*” 1933 reprint Edition 7L, 2003. Paris.
5. エレンブルグ（木村浩訳）『わが回想Ⅱ（新版）』朝日新聞社、1968年、224-225頁。
6. 『私のパリ』については、椎原伸博「イリヤ・エレンブルグの写真集『私のパリ』におけるベルヴィルの表象について（1）」『実践女子大学文学部紀要』54号、11-22頁、2012年、椎原伸博「イリヤ・エレンブルグの写真集『私のパリ』におけるベルヴィルの表象について（2）」『実践女子大学文学部紀要』57号、1-10頁、2015年、椎原伸博「イリヤ・エレンブルグの写真集『私のパリ』におけるベルヴィルの表象について（3）」『実践女子大学文学部紀要』58号、23-45頁、2016年を参照。
7. ヴィリ・ミュンテンブルグが主宰する「新ドイツ社 Neuer Deutscher Verlag」が発行。
8. Илья Эренбург “Собрание сочинений в восьми томах.” Том.4 Художественная литература, 1991.
9. 回想録では、イズベスチアに送った記事が楽観的に粉飾されていたことを回想している。エレンブルグ、前掲書、436頁。
10. スペイン内戦ポスター研究として、柳原孝敦「翻訳と解説 突き出した指はどこから来て、どこへ行くのか：スペイン内戦のポスターとソヴィエト、そしてメキシコ」『れにくさ＝Реникса：現代文芸論研究室論集』現代文芸論研究室、91-98頁、2016年、佐藤庸介「スペイン内戦下における共和国陣営のポスタープロパガンダ：国民統合の手段としての観点から」『クリオ＝Clio : a journal of European studies』東京大学大学院人文社会系研究科西洋史学研究室「クリオの会」(19), 33-52頁、2005年、Jordi Carulla, Arnau Carulla. *La guerra civil en 2000 carteles : república - guerra civil - posguerra*. Postermil S.L. Barcelona. 1997 Vol.I p.11-18.
11. Miguel Cabanellas (1872-1938) ナショナリスト党の将軍 エレンブルグ前掲書 438頁参照。
12. Katherine M.H.Reischl “*Photographic Literacy. Cameras in The Hands of Russian Authors.*” Cornell Univ Pr. 2018 p.185.

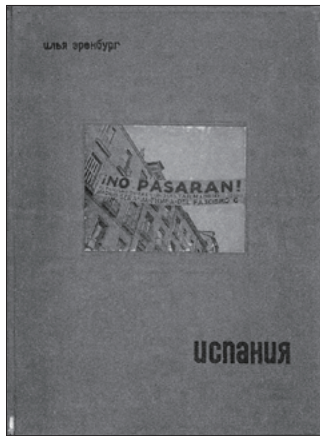


図1
イリヤ・エレンブルグ
『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』1937 書影

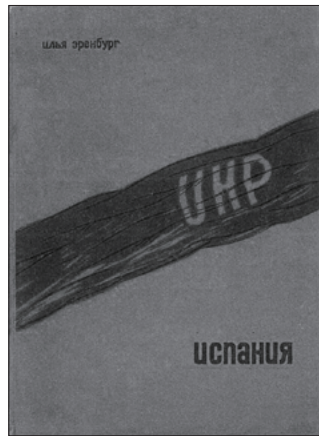


図2
イリヤ・エレンブルグ『UHP』1937 書影

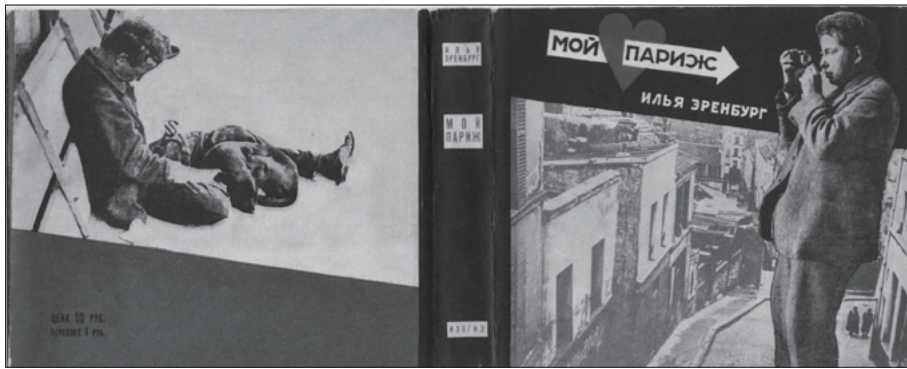


図3
イリヤ・エレンブルグ『私のパリ』1933 カバー裏表



図4
Ilya Ehrenbourg *Mon Paris*.
『ルガール』第3号 (1934年2月2日)、3頁
I. Ehrenbourg *Mon Paris*.



図5
Ilya Ehrenbourg *Visage d'Espagne*.
『ルガール』第142号 (1936年10月1日)、4-5頁



図 6
Ilya Ehrenburg “No pasaran! (Sie kommen nicht durch) Vom Freiheitskampf der Spanier.”
1937. Malik Verlag Prague, London ジョン・ハートフィールドの装幀



図 7
Ilya Ehrenburg “Spanien Heute.” 1932. Malik Verlag Prague ジョン・ハートフィールドの装幀



図 8
ジョアン・ミロ《スペインを救え》
Cahier D'Art, 4-5, 1937



図 9
『ルガル』第 145 号
(1936 年 10 月 22 日)、6 頁



図 10
モントgomery・フラッグ《合衆国軍に來ないか?》1917



図 11
デミトリ・モール《赤軍に志願したか?》1920



図 12
ロレンゾ・ゴニ《それで君は勝利のために何をした》1936

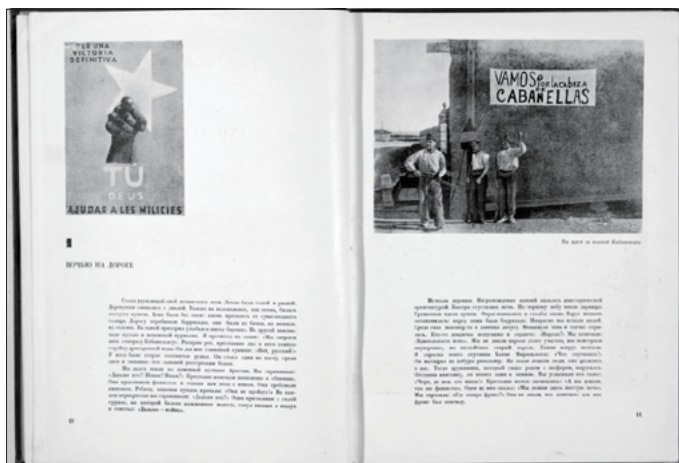


図 13
『奴らを通すな』第一章

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

図版出典：

- 図 1 ベルナール・ルブラン、ミッシェル・ルフェーブル（太田佐絵子訳）『ロバート・キャパ』原書房、2012 年、167 頁。
 - 図 2 前掲書、162 頁。
 - 図 3 Ilya Ehrenburg “*Moi Parizh - My Paris*” 1933 reprint Edition 7L, 2003. Paris
 - 図 4 <https://gallica.bnf.fr/ark:/12148/bpt6k76358141/f3.item>
 - 図 5 <https://gallica.bnf.fr/ark:/12148/bpt6k76546988/f4.item>
 - 図 6 <https://heartfield.adk.de/node/4455>
 - 図 7 <https://heartfield.adk.de/node/4447>
 - 図 8 <https://gallica.bnf.fr/ark:/12148/bpt6k9795236v/f171.item>
 - 図 9 <https://gallica.bnf.fr/ark:/12148/bpt6k76547019/f6.item>
 - 図 10 Jordi Carulla, Arnau Carulla. *La guerra civil en 2000 carteles : república - guerra civil - posguerra*. Postermil S.L. Barcelona. 1997 Vol.I p.29
 - 図 11 ibid p.19
 - 図 12 ibid p.272
 - 図 13 <https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>
- 各サイトは、2021 年 10 月 8 日閲覧。

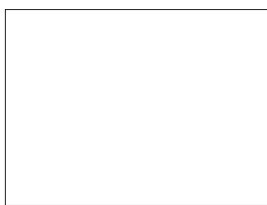
参考図版 A-1

以下、参考図版の出典は ICP のアーカイブを利用している。 2021 年 11 月 9 日閲覧

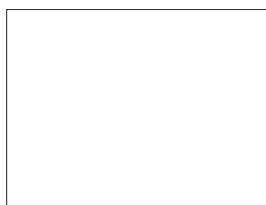
<https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>.



表紙

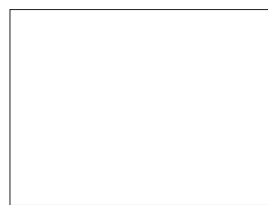


p.1



p.2

写 1 p.3



p.4 写 2

写 3 p.7



p.4 写 2

p.5

p.6



p.8

p.9

p.10 ch.1

写 4 p.11



p.12 写 5

p.13



p.14 写 6

写 7 p.15



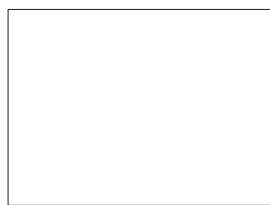
p.16 写 8

写 9 p.17



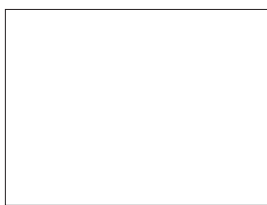
p.18 ch.2

p.19



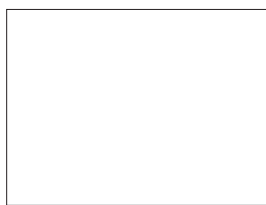
p.20 写 10

p.21



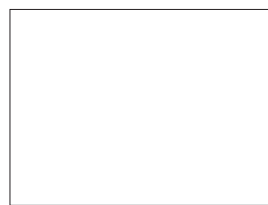
p.22 写 11

写 12 p.23



p.24 写 13

写 14 p.25



p.26 写 15

p.27



p.28 ch.3

写 16 p.29



p.30 写 17

写 18 p.31



p.32 写 19

p.33



p.34 ch.4

写 20 p.35

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (*¡NO PASARAN!*)』(1937) について

参考図版 A-2

以下、参考図版の出典は ICP のアーカイブを利用している。 2021 年 11 月 9 日閲覧

<https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>.



p.36 写 21 写 22 p.37



p.38 ch.5 写 23 p.39



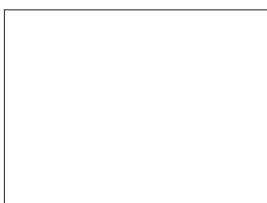
p.40 写 24 写 25 p.41



p.42 ch.6 写 26 p.43



p.44 写 27 p.45



p.46 写 28 写 29 p.47



p.48 写 30 p.49



p.50 写 31 p.51



p.52 ch.7 写 32 p.53



p.54 写 33 写 34 p.55



p.56 ch.8 p.57



p.58 写 35 写 36 p.59



p.60 写 37 写 38 p.61



p.62 ch.9 写 39 p.63



p.64 写 40 p.65



p.66 ch.10 写 41 p.67



p.68 写 42 p.69



p.70 写 43 写 44 p.71



p.72 ch.11 写 45 p.73



p.74 写 46 写 47 p.75

参考図版 A-3

以下、参考図版の出典は ICP のアーカイブを利用している。 2021 年 11 月 9 日閲覧

<https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>.



p.76 写 48



p.77 p.78 **ch.12** 写 49 p.79



p.80 写 50 写 51 p.81



p.82 写 52 写 53 p.83



p.84 **ch.13**



p.85 p.86 写 54

p.87



p.88 **ch.14**

p.89



p.90

写 55 p.91



p.92 **ch.15**

写 56 p.93



p.94 写 57

写 58 p.95



p.96 写 59

写 60 p.97



p.98 **ch.16**

写 61 p.99



p.100 **ch.17**

p.101



p.102 写 62

写 63 p.103



p.104 **ch.18**

p.105



p.106 写 64

写 65 p.107



p.108 写 66 写 67 p.109



p.110 **ch.19**

p.111



p.112 写 68 写 69 p.113



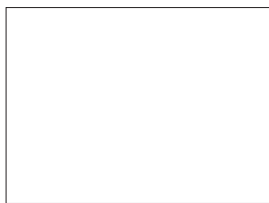
p.114 写 70 写 71 p.115

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (*¡NO PASARAN!*)』(1937) について

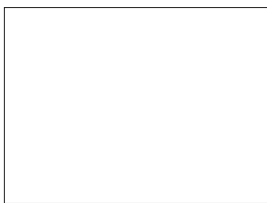
参考図版 A-4

以下、参考図版の出典は ICP のアーカイブを利用している。 2021 年 11 月 9 日閲覧

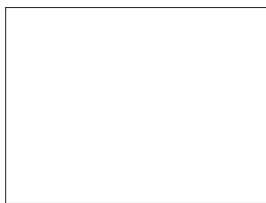
<https://www.icp.org/browse/archive/objects/no-psaran-ispania-tom-ii>.



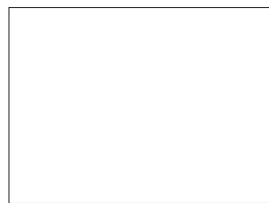
p.116 **ch.20** 写72 p.117



p.118 写73 写74 p.119



p.120 写75 写76 p.121



p.122 **ch.21** 写77 p.123



p.124 写78 写79 p.125



p.126 写80 写81 p.127



p.128 写82 p.129



p.130 **ch.22** 写83 p.131



p.136 写84 写85 p.137



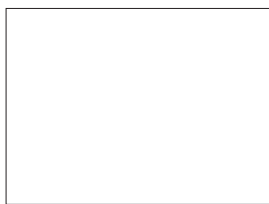
p.138 **ch.23** 写86 p.139



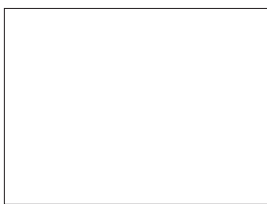
p.140 **ch.24** p.141



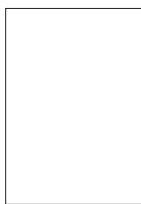
p.142 写87 写88 p.143



p.144 写89 p.145



p.150 p.151



背表紙

132-135 146-149 頁は確認できず。

参考図版 B-1 ポスター

掲載されているポスターの多くは、Jordi Carulla, Arnau Carulla “La guerra civil en 2000 carteles : república - guerra civil - posguerra.” Barcelona : Postermil S.L.1997 で確認できる。以下、出典先の巻数と頁を章番号の次に提示する。



扉頁



ch.1



ch.2 I .161



ch.3 II .471



ch.4



ch.5 II .347



ch.6



ch.7 I .266



ch.8



ch.9 I .235



ch.10



ch.11 I .273



ch.12 I .161



ch.13 I .273



ch.14 II .375



ch.15



ch.16 I .238



ch.17 II .348



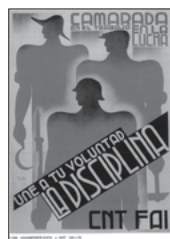
ch.18 II .492



ch.19 I .173



ch.20 I .50



ch.21 II .457



ch.22 II .412



ch.24 I .183

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

参考図版 B-2

掲載されているポスターの多くは、Jordi Carulla, Arnau Carulla “*La guerra civil en 2000 carteles : república - guerra civil - posguerra.*” Barcelona : Postermil S.L.1997 で確認できる。以下、出典先の巻数と頁を章番号の次に提示する。



ch.23 は、ポスターではなく、
フランシスコ・ゴヤ作《1808年5月3日》
1814年が掲載されている
出典：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:El_Tres_de_Mayo,_by_Francisco_de_Goya,_from_Prado_thin_black_margin.jpg
2021/11/8 閲覧

ポスター出典：

(“*La guerra civil en 2000 carteles : república - guerra civil - posguerra.*” 以外)

扉頁 Fundación Pablo Iglesias “*Carteles socialistas de la guerra civil.*” 2007 Editorial Pablo Iglesias. P.24

ch.1, ch.4 ch.8 ch.10 参考図版 A と同じ ICP のサイト。

ch.6 <https://www.livrescolaire.fr/page/6398524> (2021年12月28日閲覧)

ch.15 <https://mdc.csuc.cat/digital/collection/pavellorepu/id/281/rec/28> (2021年12月28日閲覧)

表 1

章	タイトル	ロシア語タイトル	発表日	掲載誌	フランス語タイトル	「スペインの素顔」の 通し番号と ルガール掲載号	ドイツ語タイトル	
1	夜の道	Ночью на дороге	1936/9/7	P	La Nuit Sur La Route.	4-143	Nacht auf der Landstrasse.	1
2	トレドにて	В Толедо	1936/9/23	I	A Toled.	1-142	In Toledo.	2
3	タラベラに近づいて	Под Талаверой	1936/9/27	I	Aux Approche de Talavera.	2-142	Vor Talavera.	3
4	ハイメー世号	Жайме I			« Jaime Primero »	3-142	"Jaime I."	4
5	2人のパイロット	Два лётчика			Deux Aviateurs	5-143	Zwei Flieger.	5
6	[7月19日] 連隊	Колонна. 19 июля			La Colonne «19 Juillet.»	9-144	Die "Kolonne des 19.Juli."	6
7	グアダラマの夕方	Вечером в Гвадарраме	1936/10/9	I	Le Soir A Guadarrama.	12-145	"Ich kenne das Ziel."	7
8	ドゥルティについて	У Дурруги	1936/10/5	I	Chez Durutti.	8-144	Bei Durruti.	8
9	「私たち」と「彼ら」	«Мы» и «они»			"Nous" ET "Eux"	14-146	"Wir" und "Sie"	9
10	ウエスカ周辺	Вокруг Уэски	1936/10/6	I	Autour D'Huesca.	10-144	Vor Huesca.	10
11	マルピカ	Мальпика	1936/9/29	I	A Malpica.	6-143	Im Schloss des Herzogs Arion.	11
12	勇氣	Мужество			Le Courage.	7-143		
13	赤い翼	«Красные крылья»	1936/10/12	I	Les Alles Rouges.	13-145	Die "Rotten Flugel."	12
14	ガラット氏	Мистер Гаррат			Mister Garrat.	11-145	Mister Garatt.	13
15	背後に	В тылу			A L'Arrière.	17-147		
16	モハメド・ビン・アメッド氏	Мохамед бен Амед	1936/10/18	I	Mohamed Ben Amed.	16-146	Mahomed Ben Ahmed.	16
17	テルエルスの近郊	Под Теруэлем	1937/3/3	I			Bei Teruel.	31
18	歌	Песня	1936/10/20	I	De La Chanson.	18-147	Vom Liede.	26
19	バルセロナ	Барселона			Barcelone.	15-146	Barcelona.	17
20	戦いの前に	Перед битвою	1936/12/14					
21	1936年12月のマドリード	Мадрид в декабре 1936	1936/12/20	I	Madrid toujours...	158 1937/1/21	Um Madrid.	22
22	マドリードの子どもたち	Дети Мадрида						
23	文化の擁護者	Защитники культуры					Verteidiger der Kultur.	24
24	国際旅団	Барселона в октябре 1936	1936/12/17				Die "Internationale Brigade."	25
					Le Peintre Gomez.	19-147	Der Maler Gomez.	16
				リーズベスチャ P ブラウダ				

椎原：イリヤ・エレンブルグのスペイン内戦写真集『奴らを通すな (¡NO PASARAN!)』(1937) について

表 2 - 1

写真番号	頁	章	章のタイトルとポスターの特徴	写真の内容	雑誌掲載号 Mexican Suitcase	作者
1	3	扉	扉頁 トーマス・ハートフィールド 奴らを通すな (コンドル、銃刀 マドリッド)	José Díaz Ramos 肖像		
2	4～6			1936年10月25日 CNT,FAI,UGT,PSUC 統一戦線決起 集会 モニュメンタル闘牛場		
3	7			Dolores Ibárruri 肖像	Regards145.p8 MS22	CHIM
4	11	1	夜の道 (突き刺す指 1)	兵士 3 名 旗 拳 1 'Vamos por la cabeza de Cabanellas'		
5	12～13			牛車と市民 収穫風景	Regards143.p8	Ehrenburg
6	14			市民 1 名 銃 1		
7	15			市民 1 名 銃 2 拳 2	VU441.p16	Hans Namuth
8	16			市民 6 名 銃 3		
9	17			市民 3 名 銃 4 旗		
10	20～21	2	トレド (拳 1 銃)	兵士 1 名 手榴弾 突撃	Regards143.p9	Georg Reisner
11	22			兵士 2 名 銃 5 バリケード	Regards142.p5	Ehrenburg
12	23			危険ゾーン非武装での通貨は 不可の告知		
13	24			トレド ミルクのために鉢植えで 場所どり	Regards142.p5	Ehrenburg
14	25			兵士 1 名 銃 6 Monasterio de las Descalzas Reales ドア警備	Regards146. 表紙 MS:030/8	CHIM
15	26～27	3	タラベラに近づいて (鎌)	兵士 1 名 銃 7 突撃 トレド アルカザール	Regards143.p9	Georg Reisner
16	29			市民 9 名 銃 8		
17	30			市民 1 名 銃 9 塹壕		
18	31			市民 1 名 銃 10	Regards143.p7	Ehrenburg
19	32～33			市民 5 名 銃 11 バリケード		
20	35	4	ハイメー世号 (拳 2 軍機)	兵士 10 名 銃 12 隊列		
21	36			兵士 1 名 銃 13		
22	37			兵士 10 名以上 拳 3		
23	39			兵士 5 名 飛行艇		
24	40			共和国兵士の死体		Georg Reisner
25	41	5	2人のパイロット (拳 3 軍機)	僧侶 5 名 銃 14 大砲		
26	43			兵士夫婦と赤子 15 兵士		
27	44～45			兵士多数整列 銃 16 旗		
28	46			若い兵士 1 名		
29	47			兵士多数 行進 旗		
30	48～49	6	[7月19日] 連隊 (旗 銃)	女性兵士 1 名 兵士多数 銃 17		
31	50～51			兵士多数 拳 4 旗 銃 18	Regards141.p12 JH の フォトモンタージュ	Georg Reisner
32	53	7	グアダラマの夕方 (空爆)	幼児 3 名 拳 5 マドリッド 子供センター	MS:009/17	CHIM
33	54			兵士 2 名 野営		
34	55			兵士 2 名		
35	58	8	ドゥルティについて (銃)	兵士多数 UGT マルクス肖像画		
36	59			ホテル・コロソ PSUC レーニン肖像画、スターリン肖像画		
37	60			Buenaventura Durruti 肖像		
38	61			兵士 4 名 銃 19 拳 6		
39	63	9	[私たち] と [彼ら] (鉤十字 ハンマー)	兵士多数 葬送の列 銃 20		
40	64～65			兵士多数 銃 21 拳 7		
41	67	10	ウエス力周辺 (銃)	兵士 4 名 銃 22 喇叭		
42	68～69			兵士 4 名 銃 23 塹壕		
43	70			兵士 1 名 食事		
44	71			兵士 1 名 飲酒		
45	73	11	マルピカ (銃 軍機)	兵士 1 名 銃 24		
46	74			市民 2 名 農作業	VU441.p16	Georg Reisner
47	75			市民 1 名 銃 25		
48	76～77			市民 3 名 銃 26 通行検査		

表2-2

写真番号	頁	章	章のタイトルとポスターの特徴	写真の内容	雑誌掲載号 Mexican Suitcase	作者
49	79	12	勇気 (銃)	母と子		Georg Reisner
50	80			兵士 1 名		
51	81			女性兵士 3 名 銃 27		
52	82			女性兵士 1 名 市民 2 名 銃 28		
53	83			兵士 7 名 路面電車		
54	86 ~ 87	13	赤い翼 (銃)	兵士行進 旗 市民多数 銃 29 女性兵士旗手 拳 8		
55	91	14	ガラット氏 (空爆)	兵士 1 名 銃 30		
56	93	15	背後に (突き出す指 2 銃 旗 女性兵士)	兵士多数		
57	94			ドア 通知文	MS:018/26	CHIM
58	95			市民多数 トラック 銃 31		
59	96			子供 8 名 銃 32 バリケード		
60	97			子供多数 遊戯 兵士 1 名 拳 9		
61	99	16	モハメド・ビン・アメッド (銃)	Mohamed Ben Amed	MS:024/025 に 近似ショット	CHIM
62	102	17	テルエルの近郊 (銃 女性兵士)	兵士 2 名		
63	103			市民 1 名 銃 33		
64	106	18	歌 (銃 大砲 新聞)	市民 4 名 旗 拳 10		
65	107			市民 1 名 つるはし		
66	108			兵士 2 名 彫刻 銃 34		
67	109			兵士 喇叭 市民多数 スターリン ポスター ロシア革命 19 周年		
68	112	19	バルセロナ (鉤十字 蛇 踏みつける足)	墓標 少女 1 名		
69	113			自民 1 名 銃 35		
70	114			兵士 1 名 銃 36		
71	115			塗装工 列車にプロパガンダ		
72	117	20	戦いの前に (銃 鎌)	トラック Imperial Cinema		
73	118			マドリッド郊外バリエカス 空爆後 女性 6 名 子供 2 名	Regards152. p 11	CAPA
74	119			兵士 7 名 銃 37		
75	120			ベッドに横たわる負傷者 1 名		
76	121			棺 女性兵士 2 名 兵士 2 名 旗 38 銃		
77	123	21	1936 年 12 月のバルセロナ (銃 鎌 ハンマー)	空爆後のマドリッド 崩壊したビル	Regards152.p14	CAPA
78	124			マドリッド郊外バリエカス 空爆後瓦礫に佇む女性 1 名	Regards152 表紙の別カット	CAPA
79	125			空爆後のマドリッド 家財道具		CAPA
80	126			国際義勇軍が使用する装甲車		CAPA
81	127			少女 1 名睡眠		
82	128 ~ 129			兵士 1 名 銃 39 突撃準備	Regards153.p14	CAPA
83	131	22	マドリッドの子供たち (二人の子供)	母子		
84	131			マドリッド地下鉄ホーム 避難する親子ら 5 名	VU461.p42	CAPA
85	131			兵士 3 名 銃 40 交戦	Regards153.p10	CAPA
86	139	23	文化の擁護者 (ゴヤ《1808 年 5 月 3 日》1814)	崩壊した聖人像		
87	142	24	国際旅団 (拳 4 銃)	休息する兵士 4 ~ 5 名	Regards153.p14	CAPA
88	143			休息する兵士 2 名 対話	Regards153.p14-15	CAPA
89	144 ~ 145			休息する兵士 3 名 銃 41 交戦	Regards154.p9 の 別ショット	CAPA

MS：メキシカンスーツ
ケースのネガ番号

表 3-1

	タイトル	ポスター	スローガン	作者	発注	大きさ	制作者	特徴
1	夜の道	PER UNA VICTORIA DEFINITIVA/ TU DEUS AJUDARÀ LES MILICIES	決定的な勝利のために、あなたは 民兵を助けなければならない	不明	不明	不明	不明	突き出す 指 1
2	トレド	ALLISTEU-VOS / A LES MILICIES ANTIFEIXISTES / PER ALLISTAMENTS AL "HOTEL CONLON" BARCELONA	準備せよ / 反ファシスト民兵へ / 登壇のために : 「ホテルコン ロン」 バルセロナで	Oliva Perotes	PSUC	100x70	SDP バルセロナ	拳 1 銃
3	タラベラに近づいて	CAMPEROL LA COLLITA / ES LA RERAGUARDÀ DELS QUE LLUITEN	収穫の農民 ! / 戦う者のたちの背景だ	Martí Bas i Blasi 1910-1966	UGT	100x70	SDP バルセロナ	鎌
4	ハイメ一世号	SALUSI / HEROICOS AVIADORE!	ようこそ 英雄的な飛行士 !	不明	不明	不明	不明	拳 2 軍機
5	2人のパイロット	PER A AIXAFAR EL FEIXISME / INGRESSEU A L'AVIACIO	ファシズムを粉砕するために / 航空隊へ入隊	Rafael Tona 1903-1987	PSUC	100x70	SDP バルセロナ	拳 3 軍機
6	「7月19日」連隊	ANDALUCES! POR RECONQUISTAR NUESTRA REGIÓN! POR EL PAN, LA TIERRA Y LA LIBERTAD! / OFICINAS DE RECLUTAMIENTO CUARTEL DE LA MONTANA-MADRID / CUARTEL GENERAL DE MILICIAS VILLA DEL RIO (CORDOBA)	アンダルシア! 私たちの地域を再征服するために! パン、地球、そして自由のために! 採用事務所 マドリッド軍事本部 ウィージャ・デル・リオ (コルドバ) 本部	Ramón Puyol Román 1907-1981	CUARTEL DE LA MONTANA-MADRID	100x70	マドリッド?	旗 銃
7	グアダラマの塔方	COMPANY: SOLIDARITZAT APORTANT LA TEVA SANG A LA HNANITARIA OBERA DE L'HOSPITAL NO.18	18 病院の血液バンクにあなたの 血液を提供することにより、 連帯します	Josep Sbrates 1914-1997	PSUC	100x70	SDP バルセロナ	空爆
8	ドゥルティについて	¡JOVENES! ¡POR LA INSTRUCCION MILITAR! ¡POR EL APRENDIZAJE DEL MANEJO DE LAS ARMAS!	若者よ ! / 軍事指導のために ! / 武器の扱い方を学ぶために !	José Bardasano 1910-1979	JSU	100x70	マドリッド	銃
9	「私たち」と「彼ら」	AMB EL TREBALL AIXAFAREU EL FEIXISME	一緒に働けばファシズムを粉砕	Lleó Arnau, Lluís (1899-1982)	UGT	100x70	バルセロナ	鉤十字 ハンマー
10	ウエスカ周辺	¡RESERVISTAS! ALISTAOs EN EL EJERCITO VOLUNTARIO	予約者! 義勇軍に参加する	不明	不明	不明	不明	銃
11	マルピカ	MES HOMES MES ARMES MES MOVIMENTS PER AL FRONT	より多くの人員、より多くの 武器、より多くの弾薬を前線に 投入せよ	Lorenzo Gofí 1911-1992	UGT PSUC	100x70	SDP バルセロナ	銃 軍機
12	勇気	JOVES ALLISTEU-VOS / COLUMNA DE FERRO J.GARAELLS	若者たちよ入隊せよ : 鉄の軍隊 J. Graells	Rafael Tona	JSU	100x70	SDP バルセロナ	銃
13	赤い翼	AVANT!	前進 !	Carles Fontserè 1916-2007	UGT	100x70	SDP バルセロナ	銃
14	ガラット氏	ASSASSINS!	殺人者 !	LLEO	UGT	100x70	SDP バルセロナ	空爆

表 3-2

	タイトル	ポスター	スローガン	作者	発注	大きさ	制作者	特徴
15	背後に	Les milícies us necessiten!	民兵軍はあなたを必要とする	Cristóbal Arteché 1900-1964	Comissariat de propaganda Generalitat de Catalunya	100x70	Atlàntida バルセロナ	突き出す 指2 銃 旗 女性兵士
16	モハメド・ビン・アメッド	TREBALLADORS! TOTS CONTRA EL FEIXISME.	全ての労働者へ! ファシズムに対抗を!	R	UGT	100x70	SDP バルセロナ	銃
17	テルエルの近郊	ALERTA. ESTA Contra el feixisme	警告 ファシズムに対抗する	H.V	UGT	100x70	SDP バルセロナ	銃 女性兵士
18	歌	NO LLENCEU ELS DIARIS / AL FRONT ELS NECESSITEN / OFICINA DE RECOLLIDA: CASETA PLACA CATALUNYA XAMIRRA VERGARA	新聞を捨てないで下さい 前線が必要です 収集事務所: CASETA A PLACA CATALUNYA XAMIRRA VERGARA	Miquel Dibuixant	Oficina de recollida: caseta plaça Catalunya xamira Vergara	71x100	RIEUSSET バルセロナ	銃 大 砲 新聞
19	バルセロナ	la única consigna del momento: VENCER, VENCER EN TODOS LOS FRENTERES / PARTIDO SINDICALISTA	現時点での唯一のスローガン 全ての前線での勝利です。 労働組合党	Monleón 1904-1976	Alianza de intelectuales Antifascistas para la Defensa de la Cultura. Sección Artes Plásticas; Partido Sindicalista	100x70	Gráf. Valencia, intervenido CNT-UGT バレンシア	銃十字 蛇 踏みつけ る足
20	戦いの前に	units a la unita / CAMPEROLS! / el camp es un front de lluita	団結せよ 農民たちよ 畑は戦いの最前線だ	Parriego Piguillén, Alejandro (1914-?)	UGT PSUC	100x70	SDP バルセロナ	銃 鎌
21	1936年12月の マドリッド	CAMARADA EN EL TRABAJO, EN LA LUCHA / UNE A TU VOLUNTAD LA DISCIPLINA	戦う同志たちよ あなたたちの意志で規律を 統一しよう	Alexis Hinsberger 1907-1996	CNT FAI	100x70	Comissariat de Propaganda de la Generalitat de Catalunya. バルセロナ	銃 鎌 ハンマー
22	マドリッドの子どもたち	¡Esta es la obra feel Fascismo...! / HIJOS SIN PADRES... / HIJOS SIN PAN...	これがファシズムの作品です ...! / 親のいない子供... / パン のない子供	José Bardasano	JSU	112x80	Unión Poligráfica マドリッド	子供二名
23	文化の擁護者	ゴヤの絵画	《1808年5月3日》1814年	Francisco José de Goya 1746-1828		268x347	PRAD 美術館所蔵 マドリッド	
24	国際旅団	INGRESSEU AL PARTIT SOCIALISTA UNIFICAT	統一社会党に参加せよ	Rafael Tona	PCE	100x70	SDP バルセロナ	拳 4 旗

発注者

PSUC	Partit Socialista Unificat de Catalunya	カタロニア統一社会党
UGT	La Unión General de Trabajadores y Trabajadores	労働者総同盟
JSU	Juventudes Socialistas Unificadas	若者社会主義連合
FAI	Federación Anarquista Ibérica	イベリア・アナークリスト連盟
CNT	Confederación Nacional del Trabajo	労働国民連合

制作者

SDP	Sindicat de Dibuixants Professionals.	職業デザイナー組合
	Comissariat de propaganda Generalitat de Catalunya	カタロニア政府宣伝委員会

